

VLM-850 の特殊な使用方法

VLM-850には、より高度な運用が行えるよう、以下に記す機能を備えています。

1対1同時通話(複信方式)

通話したい相手局のチャンネル番号とグループ番号を設定し、コールキーを短押しすると、携帯電話と同じ感覚で同時通話ができます。

通話方法

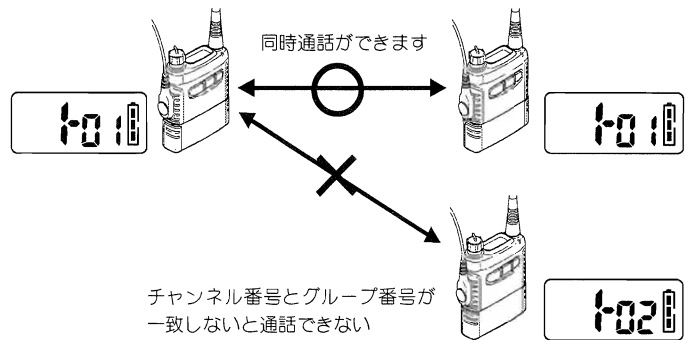
- お互いのチャンネルとグループコードをあわせませす。
- コールキーを短押しして発呼します。
- 通話を終了したい場合はコールキーを長押し(1秒以上)します。

アドバイス:

- チャンネル番号とグループ番号が同一な無線機を、3台以上で通話することはできません。
- グループ番号00は受信専用のため通話できません。
- 18ch仕様で運用している場合は、10mW(3分)/1mW(無制限)の切り替えが可能です("送信出力の切り替え"参照)。

通話(例)

チャンネル番号1とグループ番号01に設定した通話例



FDM-350B と通話する場合

FDM-350Bと1対1同時通話(複信)を行なう場合は、VLM-850のメニューモードを変更することで、通話することができます。

メニューモードの設定

- ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
- 再度、ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
- コール** キーまたは **▲** キーで、希望のメニュー番号(右表参照)にあわせませす。

 メニュー番号

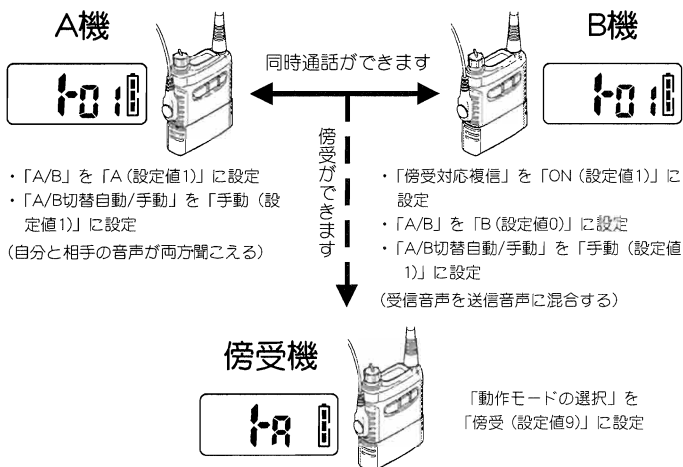
- モード** キーを押してから **コール** キーまたは **▲** キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。
- モード** キーを長押しすると、設定値が確定します。
- 電源を切って、設定操作は終了です。

メニュー番号	機能名称	工場出荷時	設定値
11	A/B	0(B)	1
12	AB切替自動/手動	0(自動)	1

傍受

セットモードの設定を変更することにより、1対1同時通話(複信)をしている両者の音声を傍受することができます。

通話(例)



チャンネル番号1とグループ番号01に設定した通話例

注意

- 複信で通話している双方が「傍受対応複信」に設定している場合は、ハウリングを起こす可能性があります。
- 複信通話を行う双方が「傍受対応複信」を「なし」に設定すると、傍受受信機には、複信通信を行っているどちらか片方の音声しか聞こえません。

メニューモードの設定


- ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
- 再度、ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
- コール** キーまたは **▲** キーで、希望のメニュー番号(下表参照)にあわせませす。

 メニュー番号
- モード** キーを押してから **コール** キーまたは **▲** キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。
- モード** キーを長押しすると、設定値が確定します。
- 電源を切って、設定操作は終了です。


メニュー番号	機能名称	工場出荷時	設定値(左記通話例の場合)		
			A機	B機	傍受専用機
04	動作モード	1(複信)	1	1	9
07	傍受対応複信	0(OFF)	0	1	0
11	A/B	0(B)	1	0	0
12	AB切替自動/手動	0(自動)	1	1	0

送信出力の切り替え (1mW / 10mW)



送信出力の切り替えは 18ch(M)仕様のみ行うことができます。

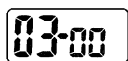
1. ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。



2. 再度、ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。



3.  キーまたは  キーで、メニュー番号を“03”にあわせませす。



メニュー番号



4.  キーを押してから  キーまたは  キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。

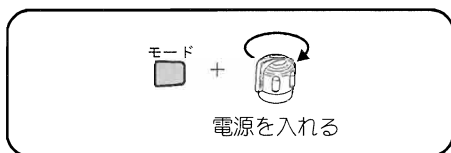
設定値	送信出力	交信可能時間
00	1mW	無制限
01	10mW	3分

キーロックの ON, OFF

モードキー、アップキーの動作を受け付けなくすることができます。誤って設定が変わることを防ぎませす。

工場出荷では、この機能を“OFF”にしています。“ON”にする場合は、以下の操作を行なったださい。

 キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイに  が表示されませす。





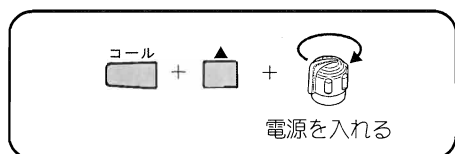
“OFF”にもどす場合は、もう一度同じ操作を行なったださい。

オールリセット


間違えて設定を変更してしまったださい場合や、交信できなくなったださい場合は“オールリセット”を行なったださい。

なお、オールリセットを行なると、全ての設定項目が初期値(工場出荷時の状態)に戻りますので、再度、各種の設定を行なったださい。


 と  を同時に押しながら電源を入れます。





18ch(M)仕様 / 9ch(RT)仕様の切り替え

1. ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。



2. 再度、ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。




3.  キーまたは  キーで、メニュー番号を“05”にあわせませす。



メニュー番号

4.  キーを押してから  キーまたは  キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。

設定値	チャンネルタイプ
00	9 ch
01	18 ch

5.  キーを長押しすると、設定値が確定します。
6. 電源を切つて、設定操作は終了です。

- 工場出荷時では“18ch(M)仕様”に設定してあります。
- 18ch(M)仕様と9ch(RT)仕様とは、同一チャンネル番号に設定しても通話することはできません。
- 9ch(RT)仕様に切り替えると、送信出力は10mWに切り替わりませす。
- 単信モードの11ch仕様で通話したいときは、必ず18ch仕様(M)に切り替えてから通話してませす。
- VLM-850と他機種*とで通話する場合は、下表を参考に設定値の切り替えをしてませす。メニューモードの設定方法は、上記の「18ch(M)仕様/9ch(RT)仕様の切り替え」と前ページの「FDM-350Bと通話する場合」を参考にしてませす。

*: 機種は一例です。一例以外の機種と通話する場合は、特約店またはお近くの営業所 / サービスセンター宛てにお問合わせませす。

機種	チャンネルタイプ (メニュー番号05)	A/B切替 (メニュー番号11)	AB切替自動/手動 (メニュー番号12)
FDH-200A	00	0	1
FDH-200B	00	1	1
FDH-300A	01	0	1
FDH-300B	01	1	1
FDM-350B	01	1	1
VLM-300RT	00	—	0
VLM-300M	01	—	0

株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8

